



常葉大学教職大学院 課題研究成果報告会

～子どもの可能性・豊かな成長・輝く未来のために～

令和7年 2月20日(木)

13時45分～14時40分

会場：常葉大学静岡草薙キャンパス C棟1階
(〒422-8581 静岡市駿河区弥生町6番1号)



同日開催 ～講演会のご案内～

演題：「新たな学びに関する取り組み（仮）」

講師：鍋島 豊 氏（独立行政法人教職員支援機構 理事）

時間：14時50分～15時50分（報告会終了後）

会場：A301教室（A棟3階）

申込不要！
参加費無料！

●お問い合わせ pgcjim@sz.tokoha-u.ac.jp 054-297-6133（大学院事務室）

2024年度 課題研究一覧

氏 名	課 題 研 究 題 目
安藤 花菜	集団宿泊体験内で行われる冒険教育的プログラムによって 他者と関わる力に変容が見られるのか —IKR評定用紙を活用した児童への調査を通して—
笠井 翔悟	小学校6年生児童を対象とした、Google Workspace を活用する授業が 児童の意識、学習内容定着に及ぼす影響の検証
高野 航希	論理構造を可視化する説明文指導の研究 —思考ツールを活用した「読むこと」と「書くこと」の一体化を目指して—
野中 凧沙	保健体育科における主体的な学びの実現に向けた 次につながる「振り返り」のあり方についての研究
岩崎 智宏	若手教員は保健室登校指導に際してどのように養護教諭と連携すればよいのか —修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ(M-GTA)を通して経験者の教訓を紡ぐ—
宇佐見 五月	授業における子供のソーシャル・キャピタル醸成に向けた支援・指導方法の検討 —不登校未然防止をねらいとして—
佐野 律子	施設分離型小中一貫教育の推進に向けた方法的検討
柴田 香	知的障害特別支援学校における児童生徒のけがや事故に対する 教員の危機管理意識に関する研究 —「データの見える化」による実践を通して—
中村 嘉孝	「児童主体の学習」に向かうための実践パッケージの提案 —「教えて考えさせる授業」と「学習を料理に例える方略」の活用 —
仁尾 且樹	学習者が安心して主体的に取り組むことができる保健体育科授業の実践的研究
原川 恵伸	コミュニケーション活動を促し、学校運営参画意識向上を目指した実践的研究 —管理職、学年主任との取組「虹色プロジェクト」の実践を通して—

※当日の発表順は一覧の通りではありません。